

これだけは覚えよう！重要ポイント

母集団

調べたい対象全体

標本

取り出した一部

標本の大きさ

 n (標本の個数)

Q. 母集団と標本の違いは？ 母集団は全体、標本はその中から選んだ一部。

① 母集団とは

定義

調査したい対象の全体。例：日本国民全員、工場の全製品。

母集団 = 全体

② 標本とは

定義

母集団から選び出した一部分。これを調べて全体を推定。

標本 = 選んだ一部

③ 標本の大きさ

用語

標本に含まれるデータの個数。 n で表す。大きいほど精度が上がる。 $n = 100$ (100人調査)

④ 関係性

まとめ

母集団から標本を抽出→標本を調査→母集団の傾向を推定。

母集団 → 標本 → 推定

💡 ミス回避のコツ

⚠️ 母集団と標本を混同

✖

標本 = 母集団

○

標本 \subset 母集団

標本は母集団の「一部」。含まれる関係。

⚠️ 標本の大きさの意味

✖

標本の大きさ = 母集団の大きさ

○

標本の大きさ = 調べた個数

標本の大きさは「調べた個数」のこと。

最終確認チェックリスト

- 母集団と標本の違いを説明できるか？
- 標本の大きさの意味を理解したか？
- 標本調査の流れを説明できるか？